



# 渋谷区議会議員 区政リポート

# 田中 まさや

No. 689  
2025年  
10月24日



日本共産党渋谷区議会議員 総務委員  
田中まさや事務所 Tel03-6276-0834  
〒151-0071 渋谷区本町 6-38-8-1A  
ブログ：<http://masaya-jcp.blogspot.jp>

区議会第3回定期例会は10月16日、2024年度渋谷区一般会計歳入歳出決算と国保など3事業会計決算を含む区長提案の議案、区民のみなさんから出された請願、区議会としての意見書などを表決して閉会しました。

ついては、渋谷駅東口広場の再整備に巨額の税金を投入するとして、それぞれ反対しました。

一方、区民の請願については、それぞれ紹介議員となり、●「最高裁判決に従い生活保護制度の充実を求める意見書を国会・政府に提出することを求める請願」については牛尾まさみ団長が、●「区独自の介護保険料減免と利用料負担助成の拡充を求める請願」については、いがらし千代子議員が、それぞれ賛成討論を行うなど、採択に全力をあげました。(下表参照)

今号では、●「玉川上水旧水路緑道再整備工事(その5)」(請負契約)に対して、私の本会議での反対討論をご紹介します。(要旨)

は、総額120億円の税金を投入し、農園などを整備、指定管理者によつて民間企業に管理させようとしています。

## 第3回定例会最終本会議での表決結果(抜粋)

2025/10/16

裏面に続く

7人分の署  
名も区長に  
提出しまし  
た。

笹塚・大山緑道の工事が終わった後に開かれたササハタハウ会議でも、参加者からテラゾは高額で舗装材として適していないと参加者の圧倒的多数が反対意見を

述べたのに対し、区長は「そのまま進めていくと冷たく切り捨てました。区長が賛成している人もいる」といつて、住民アンケートも行わず、計画を強行していくことから、日本共産党区議団は沿道住民へのアンケートを実施しました。中間集約では、「工事を中止し、住民の声を聞く」と答えた人は89.3%に達しており、圧倒的多数が反対していることは明らかです。アンケートには、「なぜ反対の声があるのに無視するのか」、「一番大切な近くの人たちの意見を取り入れてほしい。毎日生活しているのは私達です」との厳しい声がたくさん寄せられています。

こうした9割もの反対の声を切り捨てて、一部の「賛成」の声を理由に、区長が進めた再整備を押し付けることは、地方自治の本旨を踏みにじる暴挙であり言語道断です。

**第2の理由は、園路舗装材やベンチ、水飲みなどに使用するテラゾ材があまりに高額であり、これに反対する住民の声を聞かないこと**

本契約で使用されているテラゾ材は、舗装材で平米単15万6000円とインターロッキングの7・8倍、カラーコンクリート56倍も高額で総額2億5334万円、L型260万円12基の総額は3372万円、車止めの単価は33万3330円で49基の総額1633万1700円、手洗い1基127万8200円など、テラゾ材を使用した資材だけで総額3億340万円余で施設整備工事費35%を超える異常さです。舗装材にインターロッキング、他は一般的な材料を使った場合と比較して、約2億6千万円も高額となります。

アンケートでは、「高額な材料費、もつと歩道に合ったいい材料がある」、「無機質なテラテラした赤い道、緑にはマッチしない。雨が降つたら滑りそうで、年寄りは歩きたくない」などの声が寄せられ、87.5%が反対しています。導入のメリットもなく、単に「意匠性」に優れているというだけで、住民が反対していることは認められません。

**第3の理由は、樹木を大量に伐採し、公園に農園を整備し、指定管理者に管理させることは、都市公園に対する区の責任を放棄するから**

初台緑道のうち410mは客土という黒土を入れ、「はぐくむ広場」と名付けて、遊び場、花壇、農園を整備する計画です。農園については、近隣住民から強い反対の声が寄せられ、アンケートでは91%が「必要ない」と答えており、「限られた区画に、限られた人のみが利用するのは不公平」、「継続的に運営できない」とが目立っています。農園が24時間自由に憩える都市公園を一部の利用者に占有させることへの批判や管理に対する不安、獣害など

になります。

アンケートでは、「高額な材料費、もつと歩道に合ったいい材料がある」、「無機質なテラテラした赤い道、緑にはマッチしない。雨が降つたら滑りそうで、年寄りは歩きたくない」などの声が寄せられ、87.5%が反対しています。導入のメリットもなく、単に「意匠性」に優れているというだけで、住民が反対していることは認められません。

の生活環境の悪化などを危惧しています。農園をつくる声も上がっています。

また、現在初台緑道に整備されている自転車駐輪場、バイクの駐車場の2024年度の稼働率はどちらも100%を超えていているのに、駐輪場は60台分削減、バイク駐車場はなくす計画です。

住民に相談もなく、不利益となる計画を提案していること自体許されないことです。

さらに、この工事契約では、現在の中木388本、低木1086本のうち、中木319本、低木750本と7割から8割の樹木を除却します。除却した樹木は、他に移植の当てがあるもの以外は廃棄することです。「これは、現在の樹木を生きるだけ残してほしいとの住民の願いを踏みにじり、長年育んできた生態系をも破壊するもので許されません。

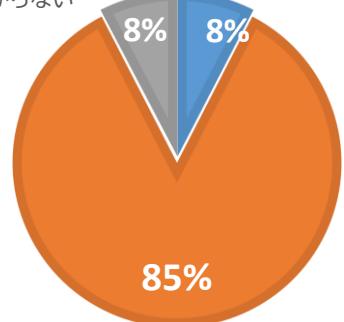
**第4の理由は、玉川上水旧水路緑道再整備事業に120億円もの税金を投入することは、物価高騰に苦しむ区民の理解を得られないから**

イナス、実質年金給付も減り続け、中小企業の倒産は12年ぶりの高水準です。いま区民のくらしは、物価高騰によつてかつてなく困難になっています。

困つている区民の支援に背を向ける一方で、緑道再整備には湯水のよう税金を投入しています。この契約に(その6)を加えると13億9645万円を支出しようとしており、緑道整備計画の全体では120億円もの税金を投入することに、区民の理解は得られません。そのため適切に管理するのが一番」との声も上がっています。

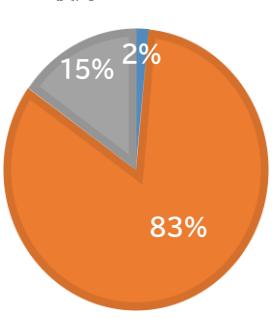
### 緑道再整備計画について

- 計画通り進める
- 工事を中止し、住民の声を聞く
- わからない



### テラゾ材の使用について

- 良い
- 使用はやめる
- わからぬ



### 農園の整備について

- 整備する
- 必要ない
- わからない

